

第 48 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

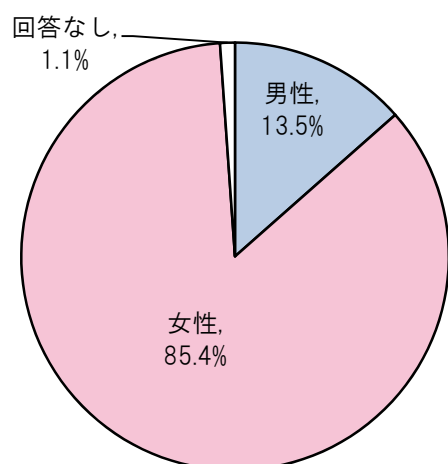
* H28.8.26（金） 実施

会場： KKR ホテル博多

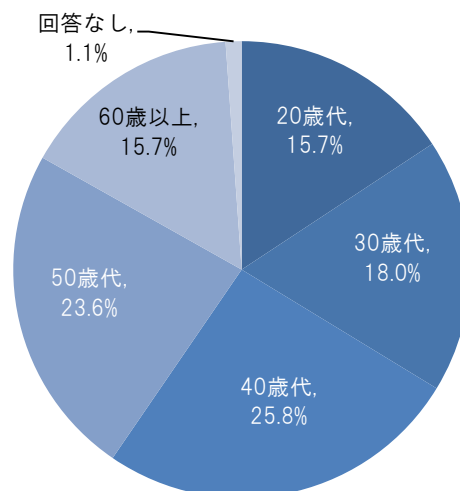
講習会参加者 96 名／アンケート回答者 89 名（回答率 92.7%）

■ あなたご自身についてお伺いします

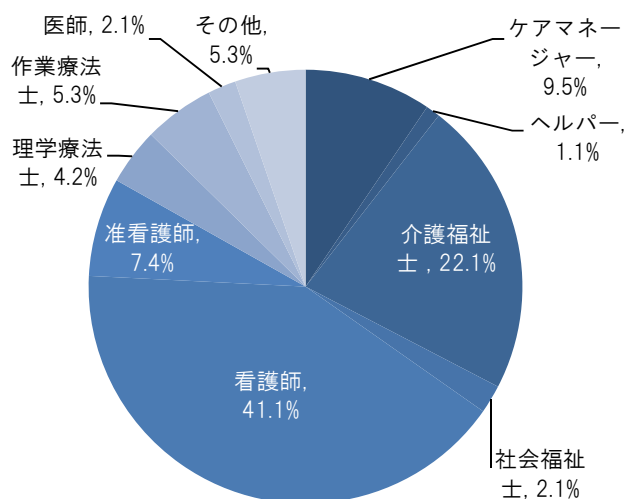
1】性別



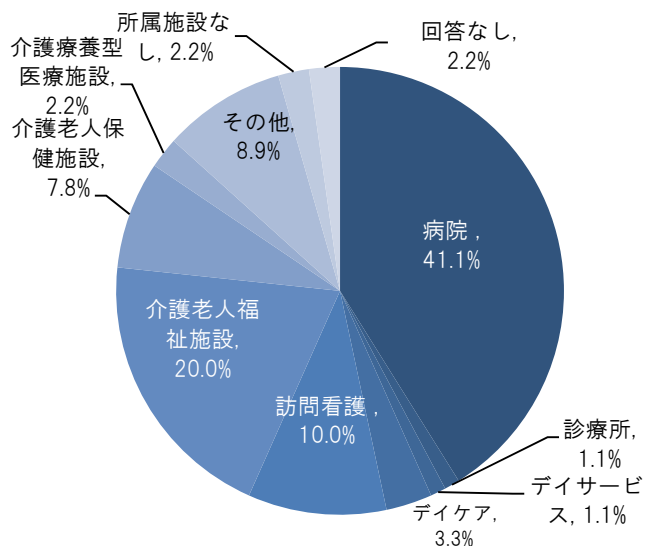
2】年齢



3】職種

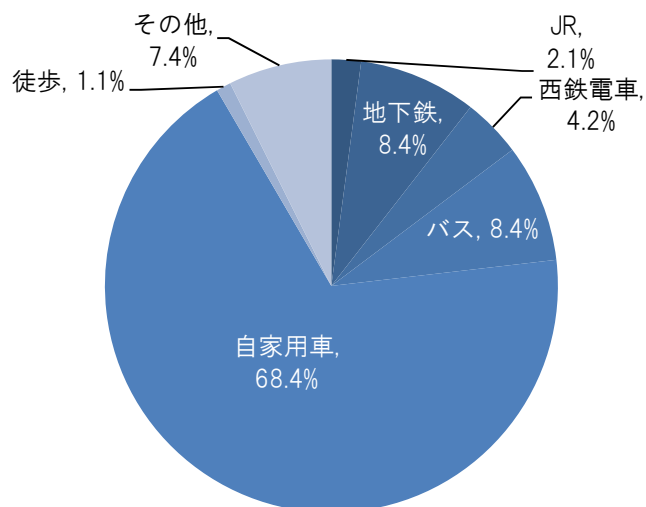


4】所属施設

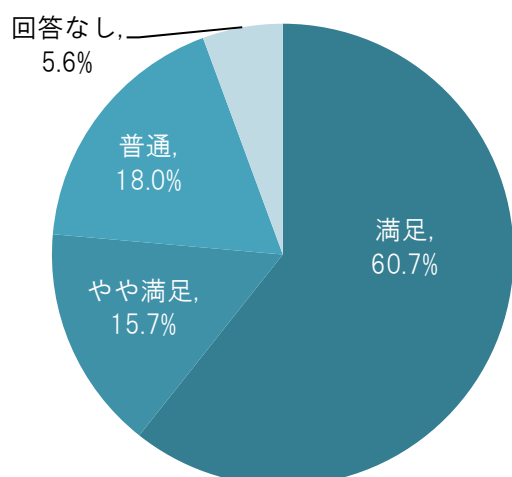


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

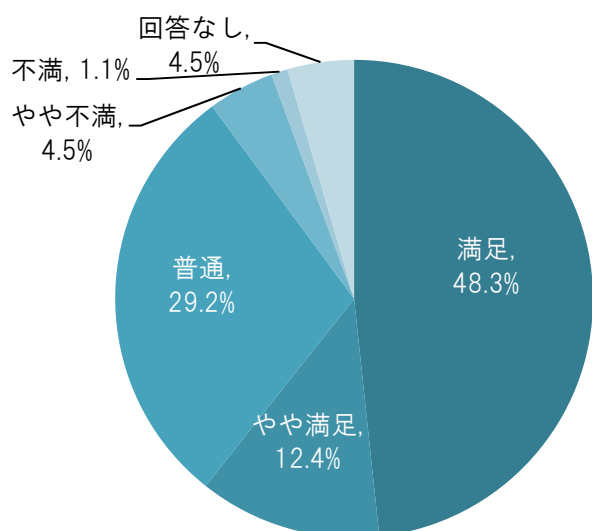
1】ご来場の際に利用された交通機関



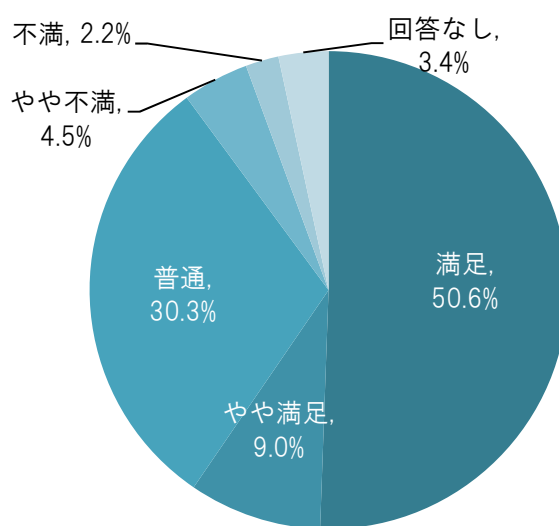
2-1】本日の講習会の内容について
『日常ケアから排便トラブルの対応を考える』



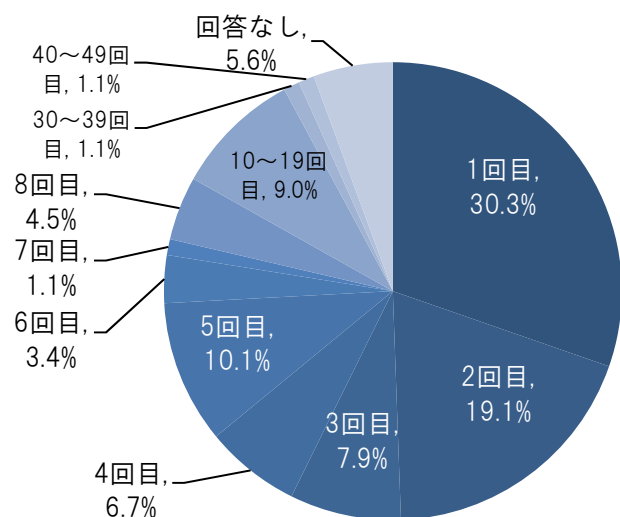
3】本日の講演時間について



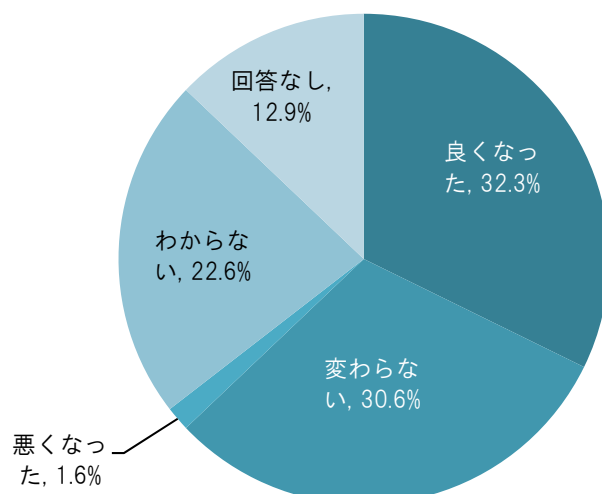
4】本日の会場について



5】今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？



6】複数回参加されている方にお尋ねします。
この講習会に参加することで、あなたが所属している施設の排泄管理の状況はよくなりましたか？



6】 皆さんにお尋ねします。排泄管理の状況の改善についてなにかご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・ まだ改善途中です。リハビリ側としてベッドから離れての排泄を促していきたいです。
- ・ 寝たきり患者の便のコントロール、オムツからの尿もれ、変形拘縮患者のオムツ選定、カテーテル管理
- ・ 摘便や直腸診にハードルが高い病院・施設がある
- ・ 受け持ち患者さんが便秘だと思っていたのが、宿便が多量にあり、又、硬便・嵌入便で摘便を行っていましたが、痔があり困っていました。2 ヶ月の期限・施設で行える範囲等 考えると案が見出せず…。最終的に Dr.、薬剤師、栄養士、リハビリ、SW の連携でなんとかコントロールし、退院できました。何に対しても連携の必要性を実感しました。
- ・ ブリストルスケールを以前から活用していますが、排便日誌やアセスメントをしっかり取る事で、安易な下剤の使用は無くなったと思います。

7】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

講習会の感想：

- ・ ありがとうございます。排泄は生活していく上でとても大切な行為です。改めて考えさせられました。
- ・ 御講習ありがとうございます。なんとなくのケアではなく、患者さんの問題点を把握して、きちんとアセスメントして、ケアに活かせるようにしていきたいと改めて思う機会になりました。本当にありがとうございました。
- ・ 大変ためになりました。今後の参考にしたいと思います。ありがとうございます。
- ・ もっと話を聞きたかった。あっという間で、続いて講習会に参加したいと思いました。
- ・ 本日の講習会は 10 年参加させて頂いてケアスタッフとし、排便について総まとめにして頂いたものでした。ありがとうございます。

講習会で取り上げてほしいテーマ：

- ・ 頻尿について
- ・ 認知症の頻尿への対応と改善対策（医療とケアから見て）
- ・ 頻尿のケア。高齢者でもできる運動。
- ・ 失禁に対する対策。高齢者でもできる骨盤底筋体操についてくわしくより実践的な内容を知りたい。
- ・ パットの種類とチームケアについて勉強したい。個人では排泄管理の意識が高まった。
- ・ オムツの選択、パットとの組合せ
- ・ 現場で実践できるオムツ→パンツへ“臥床から座位へ”
- ・ 1 人で立位保持、座位保持がない方（便意尿意なし）のトイレ介助の必要性和ケアの方法について教えて頂きたい。
- ・ パーキンソン病（神経難病）患者の排泄について（便秘のしくみ、ADL 制限ある方への排便コントロールの付け方）

- ・ 排便障害対処法について。患者指導出来る様な内容等。
- ・ 最近、カマグを常用服用している高齢者の排便困難が増えています。高 Ca 血症、意識レベル低下など、要入院となる例もありました。緩下剤の適用の難しさを感じます。何か良い方法はないのでしょうか。
- ・ 排泄管理で利用者様の ADL アップ成功している施設発表（課題の取り組み）
- ・ 排尿自立指導料について

その他：

- ・ 冷房が寒かったです。